

ぶんかざいまるちなび

文化財知ナビ

No. 28

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

重要文化財「旧網走監獄」

重要文化財「旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）」

平成28年2月に国の重要文化財（建造物）に指定された文化財を紹介します。

旧網走監獄 3棟（庁舎、舎房及び中央見張所、教誨堂）

網走監獄は、明治23年に旭川から網走への中央道路開削のため、釧路監獄署網走囚徒外役所を設置したことに始まり、明治36年監獄官制発布に伴い網走監獄となりました。

明治42年に火災により建物の大半を焼失し、現在の建物は明治45年に再建されたものです。設計は司法省で、施工は全て収容者の手で実施されました。

その後、刑務所の改築計画に伴い昭和56年より建造物が順次現位置に解体移築され、博物館網走監獄として公開活用されています。

旧網走監獄の庁舎、舎房及び中央見張所、教誨堂は、監獄における主要施設であり、明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として歴史的価値が高く、とりわけ舎房及び中央見張所は、木造の放射状舎房が完全な形で残る唯一のものであり、中央監視方式の配置や舎房の構造など、当時の標準的な獄舎の特徴を備えています。



上.. 舎房及び中央見張所
下.. 庁舎



庁舎



中央見張所（内部）



教誨堂

きゅうあほしりけいむしよふたみがおかけいむししよ ふたみがおかのうじょう どう ちようしゃ しゃぼう
 ○旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）5棟（庁舎、舎房、
 きょうかいどうおよ しょくどう けん さ ふちやくじよ すいじょう
 教誨堂及び食堂、鍵鎖附着所、炊場）

舎房
(内部)



旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所は、明治29年に北海道集治監網走分監の屈斜路外役所として、集治監の過剰拘禁の緩和と農地開墾による自給自足を旨として開設されました。昭和4年に網走刑務所二見ヶ岡刑務支所となり、平成11年に博物館網走監獄に移築されました。施設は明治29年建築の庁舎、舎房、炊場と大正15年に増築

された教誨堂及び食堂、昭和5年の鍵鎖附着所から成ります。全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、当初に遡る主要建物を良く残し、特に舎房は明治中期に遡る獄舎建築として歴史的価値の高いものです。また一連の施設を残している点でも貴重で、構外泊込作業場から段階的処遇制度の先駆的施設への発展過程をよく示しており、行刑史上高い価値が認められています。



左：炊場 若：庁舎 教誨堂（内部） 鍵鎖附着所

博物館網走監獄では、今回紹介した文化財をはじめ、様々な関連施設が公開されています。是非、博物館網走監獄へ行って、実際の建造物や当時の歴史について見学してみてください。

博物館網走監獄

〒099-2421 網走市字呼人1-1
 Tel : 0152-45-2411
 Fax : 0152-45-2338
 URL : <http://www.kangoku.jp/index.html>

開館情報

年中無休
 夏期5月～9月 8:30～18:00
 冬期10月～4月 9:00～17:00
 最終入館は、閉館1時間前まで

入館料金

大人 1,080円
 大学・高校生 750円
 小・中学生 540円
 福祉料金 540円
 団体割引 20人以上2割引
 網走市民割引 2割引

※このニューズレターで掲載している写真等については、博物館網走監獄の許可を得て掲載しています。

文化財ニューズレター 文化財まる知ナビ No.28

発行 平成28年7月5日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111 (内線) 35-621 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp